

完全予約制

北近江古代 万葉ロマン講座 第1回

年間テーマ「万葉集に歌われた近江・湖北」

東山道の歌

令和4年
(2022)

要申込

8月20日(土)

午後1時30分～

講師紹介

いそぎき けい
磯崎 啓氏

1928年愛知県生まれ。愛知学芸大学(現愛知教育大学)卒業。国語・国文学専攻。

彦根市教育委員会社会教育課長兼博物館建設準備室次長、彦根市立東中学校長、米原町公民館長、米原町生涯学習推進本部参与などを歴任し、現在は歌誌「青垣」の選者、短歌・万葉集にかかわる各種講座の講師を務める。

会場：長浜城歴史博物館 地階研修室

長浜市公園町10-10

受講料：500円(長浜城歴史博物館友の会会員は無料)

お申込みについて

受付期間：令和4年7月24日(日) 午前9時から

申込み：長浜城歴史博物館友の会事務局にお電話をおかけいただくか、博物館受付にてお申込みください。

定員：先着40名(人数に達し次第受付を締め切ります)

・長浜城歴史博物館友の会事務局

☎0749-63-4611

番号はおかけ間違いのないようにお願いします

※聴講にあたり、主催者に対応(合理的配慮)を求められることがある場合は、事前にご相談ください。
※新型コロナウイルスの感染防止のため、開催を中止または延期する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

大宝元年(701年)、大宝律令が完成し、律令による国家体制へと本格的に移行していきました。国内は畿内と七道(東海道・東山道・北陸道・山陰道・山陽道・南海道・西海道)に行政的区分をされました。各道にはいくつかの国があり、国にはいくつかの郡があり、郡にもいくつかの里(のち郷と改称)があり、国司・郡司・里長といった役人が配置されました。

律令による国家体制は中央集権国家を目指したもので、これを維持していくためには、中央と道内の諸国とが緊密に結びついている必要があります。中央政権は畿内から道内諸国に通じ、国家が維持管理する官道が設置されました。官道は駅路といい、約16kmごとに駅家が設けられ、駅家には駅馬、駅子が滞在し、情報がより速やかに伝達されるしくみが整えられました。

私たちの住む滋賀県には、東海道・東山道・北陸道が通っており、都に通じる東の玄関口として機能していました。

令和4年度第1回目の北近江万葉ロマン講座では、「東山道の歌」と題してお話いただきます。

ご注意

感染症拡大防止対策のため、事前に申込みをされた方しか入場できません。

また、聴講に際してはマスクの着用をお願いし、37.5度以上の発熱のある方は入場をお断りいたします。